

# 大分中央警察署協議会

## 第2回会議の開催状況

### 第1 開催月日

令和4年10月5日（水）

### 第2 出席者

協議会	委員	12名
警察署	署長、副署長、総務官、刑事官、地域交通官、総務課長、会計課長、 留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、 刑事第二課長、交通第一課長、交通第二課長、警備課長	15名
	若手職員	8名

### 第3 議事の概要

- 1 業務説明等  
警察署から  
・業務推進状況について説明がなされた。
- 2 業務説明に関する意見
  - (1) 認知・検挙状況  
委員から「検挙数が認知数を上回るのはなぜか」旨の質疑がなされ、警察署から「過去の発生分を検挙したものが計上されている」旨の説明がなされた。
  - (2) 各種会議等への参加  
警察署から「各種会議の開催状況、警察署活性化への取組」などの説明がなされ、委員から「各種会議等に、若手職員や女性職員を可能な限り参加させ、幹部職員の知識や経験等を積極的に伝える場を設けてもらいたい」旨の要望がなされた。
- 3 諮問事項の説明  
警察署から  
・若手職員の育成について説明がなされた。
- 4 諮問事項に関する意見  
警察署から「長浜まつり雑踏警備の密着取材を受けた映像」により若手職員の活躍が紹介されたほか、9月29日付けで配属となった警察官による「警察官を志した理由、将来の目標」などの発表がなされ、委員から若手職員に対する意見要望がなされた。
  - (1) 制服の効果  
委員から「長浜まつり、七夕まつりに参加し、警察官の制服姿が多く目について安心することができた。制服を見るだけで市民が安心できるという制服の効果を認識してもらいたい」旨の意見がなされた。
  - (2) 罪を憎んで人を憎まず  
委員から「職に対して真面目に誠実に取組み、罪を憎んで人を憎まず、相手のことを思って接してもらいたい」旨の意見がなされた。
  - (3) 一人で悩まず  
委員から「一県民として、警察官のお陰で安心して生活できている。仕事はひとつひとつが日々の積み重ね。困ったときや、壁に当たった時は、一人で悩まず先輩や上司に相談してほしい」旨の意見がなされた。
  - (4) 健康に留意  
委員から「時には心ない罵声を浴びせられることもある。ストレスを発散し、健康に留意してもらいたい」旨の意見や、「趣味など仕事以外で繋がれる仲間を大事にしてほしい。趣味が楽しめなくなった時は、心が疲れているので注意してもらいたい」旨の意見がなされた。